

# 広報ひがしの

No157

2018.10.1

人口1713人

(男) 843人

(女) 870人

世帯数

633世帯

(H30.9.1現在)

## 第37回 東野納涼夏祭り開催



### 東野納涼夏祭り

8月11日(土)

前日まで『一時雨』との天気予報が発表され、開催が心配されましたが、皆さんの心がけの良さから、天候に恵まれ、無事開催することが出来ました。

地域内外から、900名余りの来場者が訪れ、会場は大賑わい。五平餅や焼きそば、フランクフルトに舌鼓し、飲み物やかき氷で涼を得て、談笑したり昔話に花を咲かせたりする姿も見られました。

子ども達は、おもちゃコーナーや金魚すくいコーナーに大行列。今年登場したボールすくいにチャレンジする真剣な表情の子ども達。

フラダンスや東野音頭、ダンシング・ヒーローが会場を盛り上げる中、お楽しみの大抽選会。当選者は笑顔一杯で大喜び。

地域住民が一堂に会する機会の少なくなった昨今。多くの方に集まっていたことが出来ました。

自治会長、実行委員・自治連の皆さんなど、多くの方々が運営に携わって頂きました。早い時間から準備をして頂き、ご苦労様でした。感謝申し上げます。





## 鏡開き

丸山大会会長、三宅実行委員長の挨拶終了後、ご来賓の水野県議会議員、千藤市議会議員、小坂市長から挨拶をいただきました。

「一、二、三」のかけ声に合わせて、ご来賓の皆様と大会長、実行委員長で鏡開き。

鏡開きを合図にして、第37回東野納涼夏祭りが始まりました。



## ありがとうございました

午後からの祭り会場の設営、各バザーでの販売やお客さんへの対応、後片付けと多岐にわたりご助力頂いた自治会長さん、こども園や小学校関係者の皆さん、虹の会や東野各関係団体のみな様等、多方面からのご支援、ご助力に感謝いたします。東野の凝集力の強さを感じました。この凝集力が地域の絆を生み出し、災害に強い地域を作る源にもなると思います。まさに、市長さんの挨拶の中にあったように、「災害に強い地域は、祭りが盛ん！」を実証するのが東野ではないでしょうか。



## 名調子 宮夫さん



## スーパースクール



## おもちゃの販売 東雲会の皆さん



## ポップコーンの無料配布 消防団の皆さん



## 子どもクイズで盛り上がる子ども達



## 会場を盛り上げてくれたフラダンス



## 夏祭りの成功を支えて頂きました

多くの皆さんが夏祭りを楽しんでいた同時刻、交通安全協会の皆さんや消防団の皆さんは、安全巡視や花火の警戒のため、それぞれの持ち場につき、祭り会場周辺の警備、打ち上げ会場周辺の非常線の設置、警備を行っていただきました。人の目につかない場所で働いて下さる皆さんに感謝です。

東野小学校のみなさんが盆踊りに参加してくれました。東野小学校のみなさんは、7月11日(水)に東野音頭の練習をしました。ささゆり会の土方千恵子さん、小栗千津子さん、神谷正枝さんを講師として踊りのコツを学びました。児童は「右右、左左、下がる、下がる…」と手振りや足運びを声に出しながら熱心に取り組んでいました。高学年は一年ぶりの東野音頭でしたが、すぐに思い出し、夏祭りに向けて練習しました。



## 東野音頭の練習



## 「避難準備・高齢者等避難開始」とは？

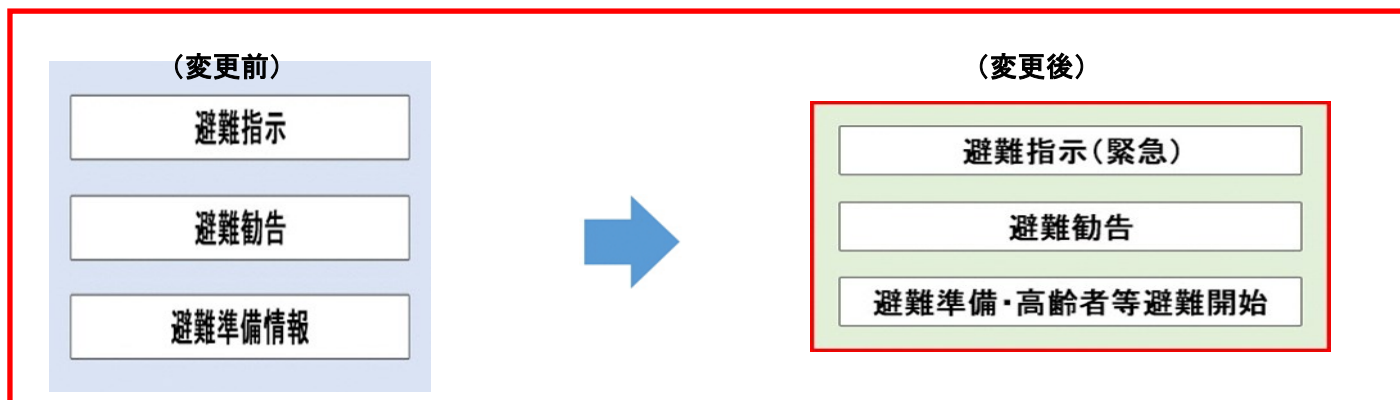
防災東野

7月6日に発生した平成30年7月豪雨（西日本豪雨）では死者・行方不明者併せ200名を超える大災害となりました。被害に遭われたみな様にお見舞い申し上げます。

今回の豪雨では、岐阜県を始め11府県に特別警報が発令される異常な事態となりました。この機に特別警報や避難準備情報について改めて考えてみます。

### 「避難準備情報」について

平成28年台風第10号による水害では、死者・行方不明者27人が発生する等、東北・北海道の各地で甚大な被害が発生しました。特に、岩手県岩泉町では、グループホームが被災し、入所者9名が全員亡くなる等、高齢者の被災が相次ぎました。高齢者施設で、適切な避難行動がとられなかったことを重く受けとめ、高齢者等が避難を開始する段階であるということを明確にするため、それまでの「避難準備情報」を「避難準備・高齢者等避難開始」に名称変更することにしました。7月29日や9月4日には台風の接近に伴い恵那市でも避難準備・高齢者等避難開始の情報が発表されました。



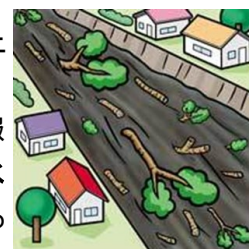
避難勧告や避難指示(緊急)を発令することが予想される場合	災害による被害が予想され、人的被害が発生する可能性が高まった場合	災害が発生するなど状況がさらに悪化し、人的被害の危険性が非常に高まった場合
避難準備・高齢者等避難開始	避難勧告	避難指示(緊急)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難に時間を要する人(ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児等)とその支援者は避難を開始しましょう。</li> <li>・その他の人は、避難の準備を整えましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・速やかに避難場所へ避難をしましょう。</li> <li>・外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難をしましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まだ避難していない人は、緊急に避難場所へ避難をしましょう。</li> <li>・外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難(垂直避難)をしましょう。</li> </ul>

## 記録的短時間大雨情報とは？

数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を観測したり、解析(気象レーダーと地上の雨量計を組み合わせた分析)したりしたときに、各地の气象台が発表します。

その基準は、1時間雨量歴代1位または2位の記録を参考に、气象台が決めます。この情報は、大雨警報発表中に、現在の降雨がその地域にとって土砂災害や浸水害、中小河川の洪水害の発生につながるような、めったに観測しない雨量であることをお知らせするために発表するもので、大雨を観測した観測点名や市町村等を明記しています。

土砂災害警戒区域や浸水想定区域などにお住まいの方は、恵那市の避難情報を確認し、避難勧告等が発令されている場合には速やかに避難を開始してください。



歴史的に東野と山は切っても切れない縁があります。あまり知られていない山争いに関わる昔話があります。昭和44年、東野小学校発行「私たちの郷土—東野の昔と今」を参考にまとめました。

今から300年ほど前に東野の孫九郎という百姓が、白坂と茄子川の境の「水の手」で、柴刈りをしてしていると、茄子川の百姓から「ここは、わしらの山だから出て行け。」と怒鳴られました。孫九郎は「ここは東野村の分だ。」と主張しました。今度は、数日後、茄子川や大井の人たちが水の手で柴刈りをしてしていると聞いた東野の人たちは、大勢で水の手へ行き、大井や茄子川の人達の鎌を取り上げてしまいました。

茄子川の庄屋が岩村藩に「水の手山は茄子川の山なのに、東野村の人は自分たちの山だと言い、柴を刈って困ります。」と訴えました。東野の庄屋が自分たちの山だと書状を出しても、話し合いはつきませんでした。このように、江戸の奉行所へ、保古山等を含む範囲について訴えたため、大變大さきなめ事になってしまいました。東野の人も、江戸に呼ばれ、評定所での山争いの地図を見せました。茄子川の地図とは大きな食い違いがありました。出する命ぜられまされた。しかし、お互いに自説を主張するため、地図は完成しませんでした。地図の作成があまりに遅れるため評定所に呼び出されました。東野村の組頭の善右衛門は相手が完成しない理由を言いましたが、これが

言い訳に聞こえてしまい、牢屋に入れられてしまいました。善右衛門が牢屋に入れられて3ヶ月たってもまだ地図は出来ません。

とうとう家臣に立ち会ってもらい作成することになり、意見が合わないところは、実際に山に行って実地調査をした上で決定するというにしました。

江戸の評定所の役人は、その年の6月、実地調査をたどき、役人の矢立の水がなくなっていました。そこで役人が、「水の出ているところはないか。」と尋ねましたが、茄子川の村人はお互いに顔を見合わせているだけでした。しかし、東野の村人は「こっちは水が出ておるところがございす。」と言って役人達を案内しました。昔から東野村の山であつたから水の湧き出る場所を熟知していたのです。

裁判は8月に江戸で行われました。奉行所では、双方の村へ境界線を明確に書き込んだ地図を渡しました。矢立の水の一件もあり、地図はほとんど東野村の言い分が通り、両村の境界線争いは終止符を打ちました。裁判の報告を岩村藩に行い、すべてが片づいたのは9月13日（19日の記述の書物もある）でした。

村の代表の努力で、東野の奥山の境界ははっきりしたことは、村にとっても忘れたことが出来たことでした。この日を祝い、境界線に石堂をたてて、お祭りをしたと城ヶ峰神社です。（一部省略しました。）



城ヶ峰神社

## 郷土東野村のいろは歌

原本は昭和16年に東野小学校の三宅道一朗（溪声）先生がまとめられた「郷土東野村」です。昭和57年に下大門の伊藤常光さんがタイプ印刷で復刻されたものがコミュニティセンターに残っています。戦前の東野の様子が伺い知れるのが、この中に掲載されている「いろは歌」です。このうちいくつかの意味が分かりますか？

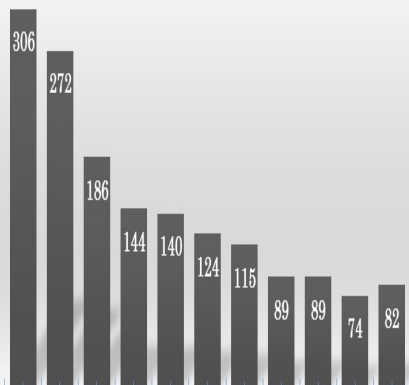


保古の湖

※（一）の文は、は当方で記述しました。

い：古の五輪の数や四十二基  
ろ：六地蔵は疫病よけの供養塔  
は：春の雨竹林庵や夢の跡  
に：日本一蚕種製造東野村  
ほ：保古池の水は潤う百町歩  
へ：兵隊さん今日も銃後は大丈夫  
と：図書館に文読む友や文化村  
ち：忠魂碑でがらの後やしのぼる  
り：林道を上りて行けば四十八滝  
ぬ：ぬうて行く汽車は山路を幾廻り  
る：るり色の空に銀翼秋葉山  
を：大堰湯明和飢饉に作りけり  
わ：我が村の生命線は米と蕎  
か：学校は海拔三百十メートル  
よ：良き村を尚よく築け新体制  
た：誰か知る小野川洞の正源寺  
れ：歴史を学べ村を知れ  
そ：其の昔地蔵が平の定連寺  
つ：つぐみ鳥舎保古峯山に火の見ゆる  
ね：熱と汗銃後を守れ鉄くさ  
な：南朝の昔をしのぶ五輪塚  
ら：ラジオは村に五十五戸（電話を所有するのは十四戸でした）  
む：村に八社の鎮めあり  
う：鶯に花無山の春を知る  
み：あざり立つ地蔵が平の地蔵尊  
の：野は広し牧場の高原保古湖畔  
お：思い出す山本風穴藤川翁  
く：雲宮、宮前、天王前、御所前、大門、陣屋跡  
や：山論の鎮の森や三尺坊

## 東野小学校の児童数の推移



昭和20 昭和30 昭和40 昭和50 平成元 平成5 平成10 平成15 平成20 平成25 平成30

ま：学舎の児童は三百八十人（昭和13・14年は尋常科・高等科合計384名）  
け：境内に古き大木八坂神  
ふ：冬の業 寒天 紙すき シクラメン  
こ：小野川の薬師は美濃の三薬師  
え：恵東座は村に一つの娯楽場  
て：天然記念物の山椒魚  
あ：阿木川の若鮎太る解禁日  
さ：栄え行く平和の村や三百戸  
き：記念林金原翁や山の富  
ゆ：豊かなる村を眺めて汽車走る  
め：名所の花無保古の沼世にも名高き蚕村  
み：道と水 村の誇のある所  
し：正保に開基といわる宗久寺（正しくは元和2年）  
ゑ：笑顔なる父老にまみゆ勝戦  
ひ：東野に西尾伊藤は五十一  
も：桃井氏が祖神を祀る鶯の宮  
せ：千俵の供出米や開墾村  
す：すぎし年畑を田にせる畑田井場  
ん：運動場面積四反四畝半

「ま」の東野小学校は昭和13年（1938年）には尋常科・高等科（現在の中一・二）を合わせて384名の子どもが在籍していました。興味があつたので、東野小学校のその後の児童数の推移を調べてみました。

二千六百年の秋 溪声



すごいな～



夏休み中にもっと上達するぞと、新たな目標を口にしていました。



速くきれいに泳ぐ高校生の姿を見て、泳ぐことへのあこがれをもつことができました。この日を期待して待っていてくれた子ども達も、日々、速く泳ぐために練習しているお兄さん・お姉さんの指導のおかげで、短時間でうまく泳ぐことを覚えました。



## 水泳教室

## 飯沼川川遊び (マスつかみ)

台風12号接近に伴い、今年度も川遊び(マスつかみ)は中止になってしまいました。毎年この行事を楽しみにしている小学生からは残念がる声が聞かれました。川遊びの機会が少なくなったこの頃、自然と触れ合う貴重な機会だっただけに残念でした。来年こそ是非実施したいと思います。今回も、川遊びに備え、「飯沼川を通じて郷土愛を育てる会」の皆さん二十数名と東野青少年育成会議の皆さんが、猛暑の中、1時間以上の長時間、汗びっしょりになりながら河川敷の草刈り、清掃を実施して下さいました。

地域の多く皆様方が子ども達を支えて頂いていることを実感しました。いつもありがとうございます。



## 平成30年度 夏休みこども講座開催

恵那市全域の子どもを対象に全41の夏休みこども講座が開催されました。東野コミセンでも3講座が予定されました。残念ながら、アウトドアクッキングは、台風12号接近のため中止になりましたが、「絵本を作ろう」と「エコクラフトで作る」の2講座が開催できました。

東野の子どもだけでなく、他地域からも集まり、「絵本を作ろう」は、7月25日、8月1日の両日に渡って、絵本の作り方、絵のレイアウトなどを習い早速制作開始。思い思いにストーリーを決め、内容に合った大きさの絵本を作りました。8月5日に行われたエコクラフトでは、クラフトテープを使い、かわいらしいハロウィンのカボチャなどの飾りを作りました。



うまく出来ない～

この軸はコミニティセンターのロビー奥の陳列ケースに展示しています。作者は町野華城(かじょう)といいます。地元、久須見出身の画家。本名は栄太郎。前田青邨と東京へ出ました。二人は本郷に住み、華城は松本楓湖に師事しました。岐阜の金華山にちなみ「華城」を雅号としました。展覧会で出品した「後三年の役衣川の八幡太郎義家」の絵が、時の皇太子の買い上げになったこともあり、華城は後に地元へ帰り、画家として活躍しました。

コミニティセンター所蔵の絵の箱に「楠公桜井の別れ」と書かれています。室町時代初期の湊川の戦いの前に桜井で行われたという、楠木正成、正行親子の今生の別れを題材にしたものです。自分はこのまま戦うが、正行は戦に加わらず、朝廷に忠誠を誓うよう正成が息子に諭す場面です。この題材は敗戦までは国語や修身の教科書に掲載されていて、当時の人々には有名な話だったそうです。



## コミニティセンターの宝物

花無山句会 平成30年8月24日

## 文芸

熱帯夜山城跡の能狂言  
終戦日すいとん汁も遠くなり

市川 芳子

甚平の父に抱かる甚平の児  
バスに乗りたたむ日傘の日の匂ひ

松本はるか

涼風に子等たわまれて草野球  
木立蔭アメンボ泳ぐ坊しずか

千藤 猛司

どんよりと真夏の夜の夢赤き星  
世の中は台風までも逆走す

千藤 恵三

踊歌流れて夜店支度せり  
控え目と決めて晩節茗荷汁

## 東野音楽祭 バザーもやるよ

11月4日(日) 開場12時30分 開演13時  
東野小学校体育館 入場協力券500円

ゲスト・フォークローレユニット

「チャスカ&BBN」の皆さん

津軽民謡 中村 優佑さん

※第2部では小学校5・6年による合唱  
と器楽演奏があります。

9:00～15:30 バザー 東野コミュニティセンター駐車場

シクラメン等の販売

午前9時30分～

小林ロクロ工芸・原商店

あぶりこっと・錦鯉

11:00～ 五平餅販売

※文化作品の展示は2月に行います。





# 夏休み社会見学 8月22日(木)

青少年育成会議の主催で、平成25年から始まった社会見学も今回で6回目となり、夏休みの恒例行事となりました。



今年は、小中学生27名と保護者他8名が参加しました。学校や家庭ではなかなか行く機会の少ない愛知ヤクルト工場とトヨタ産業技術記念館を見学しました。自動車の歴史やこれからの自動車を見たリ、自動車生産技術に応用した乗り物を運転したりしました。



ヤクルト工場で説明を聞く参加者

ヤクルト工場では、高速で生産されるヤクルトの生産現場を見てびっくりする子どももいました。毎日目にする食品生産の様子に目を輝かせていました。中学生は小学生の面倒をよく見てくれました。ありがとうございました。

## 東野小学校「夏休み一研究一作品展」

恒例となった東野小学校児童による「夏休みの作品展」をコミュニティセンターロビーで開催しました。

8月28日(火)から9月9日(日)まで展示しました。コミュニティセンターでの展示ということで、来館される多くの方に見て頂くことが出来、「アイデアがすごいね」「よく考えてあるね」「上手な作品ばかりだね」「5・6年生の作品を見ると成長した事がよく分かるね」など、じっくりと見入っている様子がありました。どの作品も、創意工夫が一杯の力作でした。

## 防災訓練実施

9月2日(日)南海トラフ地震(M9.0)が発生し、恵那市においても最大震度6弱の揺れがあったとの想定のもと、防災訓練が行われました。今回から初めて小学生・中学生も参加しました。

8時の訓練の開始の放送を聞き、直ちに自治会毎に指定一時避難場所に集合。住民の安否確認と要支援者の状況把握を行いました。

この後、午前9時までに自治連役員・自治会長・消防団・恵那東中の生徒の皆さん60名ほどが、コミュニティセンターに集合。各自治会の安否情報を報告後、訓練開始。

丸山文憲自主防災隊長(自治連会長)の挨拶。広田神社の沢崩れや地蔵平の山崩れによって地蔵が何度も埋まり、現在は宗久寺に安置されていること等を例に、東野にも何度か土砂災害が起きているという話がありました。



ゲンボールトイレ、ゲンの移動、救急救命訓練、土の作成等総括情報、避難誘導、救助救護、消火水防、給食給水の五班に分かれ多様な訓練を行いました。



始めて参加した中学生も、大人と一緒に訓練を行い、防災について具体的に学びました。



参加者の皆さんは、真剣なまなざしで訓練に取り組みました。防災意識を向上させ、定期的に訓練を行うことや、正しい情報をいち早く入手することが重要であると再確認しました。

## 東野ひとづくりこども教室 延べ124名参加

7月25日(水)銅板画と紙工作32名  
8月 8日(水)木工工作33名  
8月15・16日(火・水)料理 延べ22名  
7月26・27日(木・金)・8月9日(木)学習 延べ114名

例年、東野まちづくり委員会では小学校の夏休み小学生を対象にして、こども教室を開催しています。

今年も1年生から6年生まで多くの児童が参加してくれました。普段の教室での授業と違い、異年齢で工作や調理に取り組みました。初めて取り組む銅板画



銅板画



小学生に教える中学生ボランティア



紙工作

画や低学年向けの紙工作、道具を使った巣箱作り、「ごはんてピザ」作りを行いました。最初は四苦八苦でしたが、すぐにコツをつかみ、上手に作る事ができました。できた作品をコミュニティセンターで飾ると伝えると、「すぐにお家の方に見せたいので、持って帰りたい。」と話す子どももいました。会心の出来だったようです。

学習の時間は3日間設定しました。子ども達は学校からの課題や自主学習に取り組ましました。高学年になると低学年に教える姿も見られ、頼もしく感じました。また、中学生ボランティアも来てくれて、小学生に工作の手伝いをしたり勉強を分かりやすく教えたりしていました。中学生から小学生に、東野の良き伝統が確実に受け継がれています。

講師の皆さん、ボランティアの皆さん、ご指導ありがとうございました。



料理教室

木工

## 10・11月の予定

- 10月 13日(土) 城ヶ峰神社祭礼
- 21日(日) 東野住民ふれあい体育祭
- 28日(日) 東野歌舞伎公演
- 11月 4日(日) バザー・音楽祭
- 23日(金・祝) 白坂・豊受神宮祭典

\*11月末 赤い羽根・歳末助け合い募金(1世帯550円)



## 七夕の笹飾り

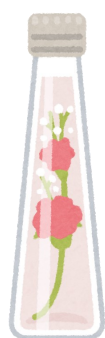
こども園・小学生・乳幼児学級の親子のみなさんが、いろいろな願い事を書いてくれました。みんなの願いが叶いますように。



# 平成30年度後期市民講座について

## 東野コミュニティセンター開催予定の後期市民講座一覧

講座名	対象	講座内容	回数	時間・初回日
赤尾先生の楽しいウォーキング&トーキング	一般 30名	赤尾先生との会話を楽しみながら東野内外を散策します	10	10:00~12:00 10/12 (金)
楽しい親子ヨガ	母子 10組	親子でヨガをして体をリフレッシュさせましょう	1	10:30~12:00 3/22 (金)
楽々囲碁	一般 10名	若い方、女性もぜひご参加ください。自分に合った打ち方ができます	2	14:00~16:00 3/9 (土)
四海巻き寿司作り	一般 10名	今晚の一品にいかがでしょうか？彩を添えるお寿司です。男性もぜひ！	1	13:00~15:30 3/13 (水)
創作からすみ作り	子ども 12名	富士山の形ではない、オリジナルの形のからすみを楽しく作りましょう	1	10:00~12:30 3/16 (土)
アロマバストケア	一般女性 12名	バストケアの実践、ネイル用キュートィクルアロマオイルを手作りします	1	10:00~12:00 3/15 (金)
ハンドメイド・ハーバリウム子供向け	子ども 10名	ひとり2本作成します 記念品・贈り物としてもどうぞ！	1	10:00~12:00 3/23 (土)
ハンドメイド・ハーバリウム大人向け	一般女性 10名	ひとり2本作成します 記念品・贈り物としてもどうぞ！	1	14:00~16:00 3/16 (土)
多肉植物の寄せ植え	一般 15名	ぷくぷくとかわいい多肉植物でご自宅を飾りませんか？	1	13:30~15:30 3/19 (火)
クラフトウッドスプーン	子ども 15名	オリジナルのスプーンを木から手作りします	1	9:00~12:00 3/3 (日)
布花アートフラワー	一般 15名	布を染め、葉や花びらを切ってコサージュを作ります	2	19:00~20:30 3/6 (水)



ハーバリウム

平成30年度後期市民講座は、東野コミュニティセンター大規模改修のため、屋外の講座を除き改修工事終了後の三月のみの開講となりました。

後期市民講座は初めて東野コミュニティセンターへお招きする講師の方々をはじめ、新しい講座を企画しております。東野地域の皆様の趣味や教養を高めたいいただけるようなものになれば幸いです。

既に定員間近の講座もございます。たくさんのご応募ありがとうございます。まだ受講に余裕のある講座につきましては、開講日まで募集を受け付けておりますので、一度東野コミュニティセンターまでお問い合わせください。皆様のご応募お待ちしております。

来年度の前期市民講座につきましては、また改めて企画・運営してまいりますので、何かご意見等ございましたら東野コミュニティセンターまでお寄せいただければ幸いです。



# 乳幼児学級 すくすくクラブ

『ちちんぷい』さんによる読み聞かせ  
みんな笑顔でした♪



乳幼児学級すくすくクラブでは七月に市の歯科衛生士さん、栄養士さんを招いて歯のことや栄養についてのお話を聞き、八月には東野おはなしの会『ちちんぷい』さんによる絵本の読み聞かせを行いました。また、夏野菜いっぱいの手作りカレーをお母さんたちが手作りし、みんなで食べました。今年の夏は例年にない猛暑でしたが子どもたちは元気いっぱい、たくさんのかを経験を、学ぶことができました！

十月は晴れたらコミュニティセンターから宗久寺まで散策します。見かけましたら、ぜひお声かけください！

## ♪すくすくクラブ学級生募集しています♪

### 今後の予定

10/25 (木)	東野お散歩
11/20 (火)	こども園訪問
12/14 (金)	合同クリスマス会
1/24 (木)	食育
2/28 (木)	座談会
3/28 (木)	閉級式

### 乳幼児学級（乳幼児期の家庭教育学級）とは

保護者の学び場、保護者同士の交流、親子の交流を図る場です。ご家族の活動を主体とし、コミュニティセンターや社会教育指導員が支援します。

今年度の活動は残り半年となりましたが、途中から、途中まで、1回のみ、時々になるけど…など、参加の形態は自由です。ママだけでなく、パパ、おじいちゃんおばあちゃんなど保護者の方、ぜひ一緒に！

ご興味のある方、参加してみたいという方は東野コミュニティセンターまでご連絡ください！

※参加費無料。活動によっては実費負担



### 発行

東野コミュニティセンター ☎二六―二五五五  
東野地域自治区運営委員会 ☎二六―二二四四

さて東野ではどうでしょうか？西日本豪雨を通して過去の経験より気象庁や行政の避難指示に従うことが重要だと感じました。情報をいち早く入手し、情報の意味を知り、最悪を想定し命を守る行動をとることが今私たちに求められていると強く感じたこの夏でした。(杉)



今年の夏は水害や猛暑、相次ぐ台風と自然災害が大きな話題となりました。過去最高の気温、観測史上最高の気温等の言葉をよく耳にしました。また、過去に経験しない豪雨という言い回しもよく耳にしました。

7月6日に発生した西日本豪雨で、大きな浸水被害があった岡山県倉敷市では、2年前、ハザードマップが作られたそうです。この地図上で、真備町（まびちょう）の大部分は二階の軒下以上が浸水する地域を示す紫色で塗られています。これは洪水が起きた場合、浸水する可能性が高いことを表しています。この紫色の地域は、実際に今回の豪雨で浸水した地域とほぼ重なっていました。しかし、真備の住民に、このハザードマップは周知されていなかったそうです。

### 編集後記

### コミュニティセンターの

### 貸館利用停止のお知らせ

8月1日の広報と同時に配布しました文書のように、10月1日～2月中まで大規模改修工事に伴い貸館利用を停止します。ご迷惑とご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。（振興事務所で扱う住民票・戸籍等の取得はできます。）

\*工事のための車両の出入りや落下物等、コミュニティセンター周辺は危険が伴います。コミュニティセンターや振興事務所への出入りにつきましては十分ご注意下さい。

\*安全確保のため。お子さんの周辺への立入りは禁止します。